

技術支援の取組み

Activities for Progress of Technical Level of Railway Engineers

【概要】

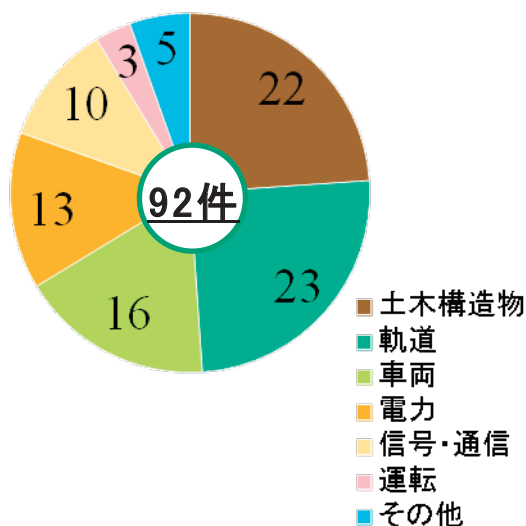
平成24年度は、

- ① 会員からの技術的課題に関するご相談92件(現地調査8件含む)に対応
- ② 「事故に学ぶ鉄道技術(車両編Ⅰ)」の作成
- ③ 鉄道の安全・安定輸送に関する講演会の開催

等、会員の技術力の維持・向上に寄与する活動を展開しました。

①技術的なご相談への対応状況

平成24年度の
分野別ご相談件数



●「土木構造物」

- ・橋脚の健全度診断
- ・駅構内の旅客流動量評価

など

●「軌道」

- ・軌条の波状摩耗の管理方法および補修方法
- ・分岐器間距離が近接する箇所の走行安全性

など

●「車両」

- ・車輪の異常摩耗に関する調査
- ・制輪子騒音等に対する対策事例

など

●「電力」

- ・電車線張力調整装置の耐久試験
- ・海外鉄道における駅構造物での放電現象の原因

など

●「信号・通信」

- ・踏切警報時間の短縮
- ・誘導無線装置の受信レベル向上策

など

●「運転」

- ・強風による運転規制の考え方と事例

など



橋脚の健全度診断



車輪の異常摩耗に関する調査

現地調査の実施状況

② 鉄道技術教材

実務の中核を担う中堅技術者クラス向けに、事故に学ぶ鉄道技術(車両編 I)を作成しました。

事象事例等を原因となった車両の部位毎に体系的に整理し、原因や対策だけでなく、学ぶべきポイントや技術的解説を設け、幅広い知識の習得ができる構成としています。

事象の概要

原因

背景

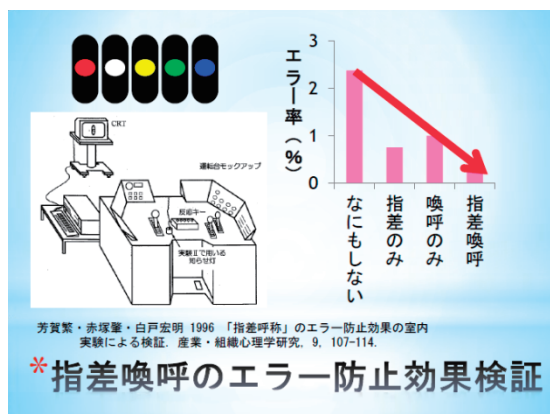
措置

ポイント **解説** **事故に学ぶ鉄道技術 (車両編 I)**

③ 講演会

鉄軌道技術者の技術レベルの向上を図るため、毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市で推進センター講演会を開催しています。

平成24年度は、「鉄道の安全・安定輸送を支援する人間科学技術」と題して、札幌、仙台、大阪、福岡にて講演会を開催しました。



講演内容例
(指差喚呼のエラー防止効果と指導法)



講演会の様子

公益財団法人鉄道総合技術研究所
鉄道技術推進センター